

事業所向け

放課後等デイサービス自己評価表

記入年月日: 令和3年3月19日

|                  |  | チェック項目  | はい   | どちらとも<br>えない | いいえ  | 備考  |
|------------------|--|---|------|--------------|------|---|
| 環境・<br>体制<br>整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | 40%  | 60%          | 0%   |   |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | 60%  | 0%           | 40%  | 職員の退職後の人員を懸念することで、回答が分かれたと思われる。                                   |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | 0%   | 40%          | 60%  | 賃貸物件のため大きな設備変更はできないが、現時点で利用者にとって支障はない。                            |
| 業務<br>改善         | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | 20%  | 80%          | 0%   | 全員で検討する機会は設けているが、正職員とパートの間でややばらつきがある。                             |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 20%  | 80%          | 0%   |   |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | 100% | 0%           | 0%   |   |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 0%   | 0%           | 100% | 現時点で第三者評価は受けていない。   |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | 40%  | 60%          | 0%   | 児童発達支援管理責任者研修への参加。外部研修について、今後はオンラインでの参加を増やしたい。                    |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0%           | 0%   |   |
|                  | 10   | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                 | 80%  | 20%          | 0%   |   |
|                  | 11   | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 60%  | 40%          | 0%   |   |
|                  | 12   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 60%  | 40%          | 0%   |   |
|                  | 13   | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 60%  | 40%          | 0%   |   |
|                  | 14   | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | 100% | 0%           | 0%   |   |
|                  | 15   | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | 100% | 0%           | 0%   | 支援前は必ず打ち合わせを実施。前日までの共有事項も確認している。                                  |
|                  | 16   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | 40%  | 60%          | 0%   | 当日の利用者の状況やパート職員の勤務時間の関係上、終了後に毎回実施することは難しいが、緊急時等は即日情報共有するなど対応している。 |
|                  | 17   | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | 100% | 0%           | 0%   |   |
|                  | 18   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                  | 100% | 0%           | 0%   |   |
| 19               | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 20%   | 80%  | 0%           |      |   |

|              |  |  |      |      |      |  |
|--------------|--|--|------|------|------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | 100% | 0%   | 0%   |  |
|              | 21   | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 100% | 0%   | 0%   |  |
|              | 22   | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 0%   | 0%   | 100% | 該当利用者はいない。   |
|              | 23   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 0%   | 40%  | 60%  | 利用者によっては十分な情報提供をいただけないケースもあるため、必要な情報を過不足なく得られる体制にしたい。        |
|              | 24   | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | 0%   | 100% | 0%   | これまで該当ケースはないが、今後必要があれば情報提供していきたい。                            |
|              | 25   | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 80%  | 20%  | 0%   | 専門機関からは必要に応じ助言を受けている。  |
|              | 26   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                 | 0%   | 0%   | 100% | 新型コロナ対策のため他事業所との交流機会はなかった。今後はどのような形で地域への活動へ参加するか等検討していく必要あり。 |
|              | 27   | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   | 40%  | 60%  | 0%   | 可能な限り協議会へ参加はしている。  |
|              | 28   | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 100% | 0%   | 0%   |  |
| 29           | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 20%  | 80%  | 0%   |      |  |
| 保護者への説明責任等   | 30   | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | 100% | 0%   | 0%   |  |
|              | 31   | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | 100% | 0%   | 0%   |  |
|              | 32   | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          | 0%   | 40%  | 60%  | 新型コロナ対策のため事業所内への立ち入り制限もあり、保護者同士が交流する機会を設けることはできなかった。         |
|              | 33   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか    | 100% | 0%   | 0%   |  |
|              | 34   | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                      | 0%   | 60%  | 40%  | 行事予定やお知らせは随時実施しているが、定期的な活動報告は行っていないため、今後の課題である。              |
|              | 35   | 個人情報に十分注意しているか   | 100% | 0%   | 0%   |  |
|              | 36   | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                  | 100% | 0%   | 0%   |  |
|              | 37   | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                    | 0%   | 20%  | 80%  | 新型コロナ対策のため、行事への招待は行わなかった。事業所の見学については、利用者のいない時間帯に対応した。        |

|         |    |   |      |      |      |   |
|---------|----|---|------|------|------|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | 0%   | 60%  | 40%  | 保護者への周知は不足している。マニュアルの見直しとともに改善していきたい。   |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 100% | 0%   | 0%   |   |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 0%   | 100% | 0%   | 順次、職員が参加できる体制にしたい。  |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 0%   | 60%  | 40%  | サービス利用前に説明は行うが、現時点で該当利用者はいない。   |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 0%   | 0%   | 100% | 該当利用者はいない。  |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 60%  | 20%  | 20%  | ヒヤリハット事例についてはまだまだ数が少なく、「事例集」とまではいかない。日々のミーティングや内部研修にて、想定される事例等を検討し、事故防止に努めたい。 |